

日本食品洗淨剤衛生協会では GHS表示をすすめています

**新しい表示がついたからといって、
今までの製品よりも危険になったわけではありません。**

日本でも国際ルールにそって、GHSを展開します。

GHSは、危険性や有害性が国際ルールにそって理解されるように追加されたシステムであり、製品が変わったわけではありません。

今回の対象となる製品

各種業務用洗淨剤の表示に関するガイドラインは、外食産業などで使用される洗淨剤や漂白剤などの業務用洗淨剤、具体的には中性洗剤、アルカリ性洗淨剤、食器洗淨機用洗淨剤、酸性洗淨剤、アルコール製剤（食品添加物を除く）、塩素系漂白剤、酸素系漂白剤が対象製品となります。

日本食品洗淨剤衛生協会は安心づくりの活動を推進しています。

日本食品洗淨剤衛生協会では、業務用洗淨剤のGHSに基づく表示を適切に行うために、各種業務用洗淨剤の表示に関する基本的な考え方と具体的な表示ガイドライン「各種業務用洗淨剤の表示に関するガイドライン」を作成し、使用者に対して分かりやすく親切な表示に努めています。

会員各社一覧（2015年2月現在 五十音順）

正会員（19社）

ADEKAクリーンエイド株式会社	シーバイエス株式会社
甘糟化学産業株式会社	信和アルコール産業株式会社
株式会社アルボース	攝津製油株式会社
上野製薬株式会社	株式会社セハー ジャパン
エコラボ合同会社	株式会社タケックス・ラボ
MCフードスペシャリティーズ株式会社	東京サラヤ株式会社
株式会社オーヤラックス	株式会社ニイタカ
花王プロフェッショナル・サービス株式会社	ミツエイ株式会社
京葉糖蜜輸送株式会社	ライオンハイジーン株式会社
サンワバイオテック株式会社	

賛助会員（2社）

日本アルコール販売株式会社	富士電機株式会社
---------------	----------

GHSとは「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」のことです。

GHS

Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals
グローバリー・ハーモナイズド・システム

これまでの製品表示に世界共通の情報が追加されました。

化学物質は世界中で作られ、様々な製品に使用されています。しかし、国ごとに化学物質の危険性や有害性を分類する基準や表示が異なっていました。そこで国連では、世界共通のルールとして、GHSを2003年7月に採択しました。世界のみんながわかるように統一された絵表示と安全を考えた表示が始まっています。

■GHSの一例

① 絵表示 (ない場合もあります)

製品が持つ危険性や有害性の種類と程度を表します。この例では腐食性があることを示しています。

② 注意喚起語 (ない場合もあります)

「危険」と「警告」の2種類があり、「危険」の方が危険性や有害性が高いことを意味します。



③ 危険有害性情報 (ない場合もあります)

危険性や有害性の性質と程度を示します。この例では眼に対する有害性が高いこと、皮膚に刺激性のあることを示しています。

これまでの製品のラベル表示に加え、これからは世界共通の情報も表示されます。

今までは使用上の注意や応急処置などの情報を中心に表示してきました。これからは、製品の危険性や有害性に応じた絵表示、注意喚起語、危険有害性情報も追加されます。

飲んだり、触ったり、吸い込んだりすると有害なもの。



環境に害をなすもの。



爆発しやすいもの、火がつきやすいもの。

